


環境省・オフセット・クレジット(J-VER)制度認証委員会
(事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成 24年 2月 27日

検証結果の概要報告書

検証結果の概要について以下の通り報告いたします。

対象プロジェクト名		
千葉県印刷事業者によるマイクロガスタービン型コジェネレーションを用いた温室効果ガス排出削減事業		
GHG 検証機関		
当該プロジェクトにおける検証を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。		
機関名	ロイド レジスター クオリティ アシュアランス リミテッド	
担当部署名	テクニカルグループ GHG チーム	
責任者名	飯尾隆弘	
責任者 E-mail	Takahiro.iio@lrqa.com	
責任者電話番号	045-682-5290	
審査員名	主任審査員: 川元 蔭(検証の全ての部分を担当する) 技術専門家: 佐藤泰文(EMSの観点から助言する) テクニカルレビューワー: 飯尾隆弘(検証の最終レビュー及び当該検証業務の責任者)	
機関要件への合致	受注段階でオフセット・クレジット(J-VER)制度における温室効果ガス(GHG)妥当性確認及び検証機関の暫定的な登録要件について(Ver.3.0)を満たしていることを確認し、同要件(Ver.4.0)を満たしている事を確認している。又、ISO14065検証部門認定申請済みとなっている。本プロジェクトはJABによる審査対象案件となっている。	
検証報告書発行日	平成24年2月27日	
検証結果		
適用妥当性確認・検証ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度 妥当性確認・検証ガイドライン Ver. 2.1	
検証期間	平成24年 1月 30日～ 平成24年 2月 20日	
現地審査	期間	平成24年 2月 14日 ～ 平成24年 2月 14日

		<p>事業者、プロジェクト、バウンダリ、ベースラインシナリオ等の再理解の為に、契約直後にフェーズ1審査として戦略的分析及びリスク分析を行なった。現地審査は、フェーズ1審査のデスクレビュー(戦略的分析、リスク分析及び検証計画立案)実施の後、ステージ2審査として下記項目等を目的として行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 関係者のインタビュー 2. 周辺環境の把握及び環境影響の有無確認 3. プロジェクトバウンダリ及びベースラインシナリオの変更の有無の確認。 4. コージェネレーション機器及び配管の設置状況 5. プロジェクト管理体制の変更の有無 <p>この現地審査により判明した事は、次の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. バウンダリ、管理体制その他の周辺環境に変化がない事を確認した。 2. 新設されたボイラーは、計画通りに稼働している事を確認した。 3. モニタリングはモニタリング計画書に従って実施された事を確認した。しかし、発生電力量を計測する電力量計の校正が計画書通りに行なわれていなかったため、実施頂いた。その結果として計測値に更なる補正の必要がない事が判明し、最終検証結果としている。 				
排出削減・ 吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012
	t-CO2	0	384.77	753.24	481.14	0
検証結果の要約		<p>当社は株式会社日商グラビア殿から依頼された表記のモニタリング計画書(最終Ver.2.0)に対して、オフセット・クレジット(J-VER)制度実施規則(Ver.4.0)、モニタリング方法ガイドライン(削減プロジェクト用)(Ver.3.1)、オフセット・クレジット(J-VER)制度妥当性確認・検証ガイドライン(Ver.2.1)、適用ポジティブリスト/方法論、ISO14064 Part1及びPart3、IAFガイドライン等に従い、重要性の量的基準値5%、合理的保証を保証水準として検証を行なった。その結果として、当該プロジェクトの申請対象期間の削減量について、無限定適正、即ち、全ての重要な点について適正であると認める。</p>				

i 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。